

外来魚駆除に一役

御池

生態系保護へ釣り大会

8月25日

高原町の御池・皇子港で18日までの2日間、外来魚駆除釣り大会が開かれた。町内外から家族連れなど約120人が参加し、釣果を競った。

御池ではブラックバスやブルーギルなどの外来魚が繁殖し、アユやワカサギなどの在来魚を捕食する被害が出ている。釣り大会は御池の生態系を守るようと、小林高野野尻漁業協同組合（丸田毅代表理事組合長）が毎年実施し、今年で8回目。

参加者は周囲の雄大な眺望を楽しみながら、湖岸から釣り糸を垂らし、当たりを待つ

た。大会終了後に検量を行い、上位者には景品を贈呈。

2日間でブラックバス38匹、ブルーギル994匹の釣果があった。魚は同漁協が引き取り、処分する。同漁協の丸田代表理事組合長は「地域住民を巻き込みながら、今後も継続していきたい」と話した。



外来魚駆除釣り大会の参加者